

2021年3月2日

福井県議会議員

様

ふるさとをまもる高浜・大飯の会
原発設置反対小浜市民の会
住みよい故郷を守る若狭町の会
オール福井反原発連絡会
原子力発電に反対する福井県民会議
原発問題住民運動福井県連絡会
原発問題住民運動福井・嶺南センター
福井から原発を止める裁判の会
サヨナラ原発福井ネット

老朽原発の再稼働についての要望書

県民の健康と暮らしを守るために努力されています皆様に感謝申し上げます。

さて、原子力発電所が作られてから40年間以上過ぎ、老朽化した原発をさらに20年間も継続して使用したいと関西電力が福井県並びに福井県議会の同意を求めているとお聞きします。

この世にある全てのものは、時間とともに老朽化して安全性が薄れ、壊れて行きます。原発は、過酷な条件のもとに運転されていますからなお一層それらの傾向は顕著になって表れます。

原発で一番問題なのは、燃料である核物質です。

原発がもし重大事故に発展したら核物質が環境にまき散らされて私たちの健康を犯し、命まで奪うかもしれないのです。

その上、先祖から営々と受け継がれてきた私たちの故郷に二度と住めなくなってしまうます。

だから原発は、絶対重大事故が起きては駄目なのです。

原発マネーの不正還流を行ってきた関西電力の社長をはじめ役員たち。

「新規制基準に適合しているかどうかを審査するのであって原発が安全とは言わない」とか「重大事故のリスクはある」と言い放つ原子力規制委員会。

もしものことに責任を持とうとしないこれらの人たちに私たちの未来を任せないでください。

私たちが心より愛す故郷「ふくい」が、子供たちの未来へと引き継がれていくかどうかの瀬戸際の判断が求められている時です。

ぜひ福井県議会で議論を重ねてください。

そして40年間も働いてきた原子力発電所がこのまま引退することを決断してください。

私たちは、福井県議会議員の皆様の決断を心より要請します。